



広報

ごよかわら

発行所

五所川原市役所

503号

昭和56年9月15日

印刷 株式会社佐々木印刷工業

市の人口

53,132人

男 25,732人

女 27,400人

世帯数 14,603

(昭和56年9月1日現在) 住民基本台帳から



青森県総合防災訓練

一万八千人が参加して実施

(関連記事四、五面に)

中小河川の改修・補修を国、県へ働きかけ

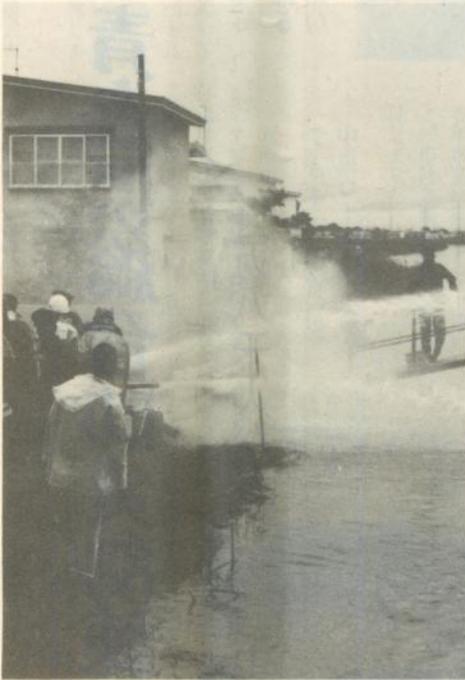
八月二十一日から二十

三日にかけての日本海低気圧による集中豪雨と台風15号の直撃で、当市は七百七十九棟、九百八十四世帯が被災し、公共施設の損壊、りんごの落果なども含めて総額十三億四千六百万円（推計）という被害に見舞われました。

三十一日から降り始めた雨は、二十二日の夜になってもやまず、中小河川からあふれ出た水は次々と流域の住家の床下、床上に浸水し始めました。



▲被災地を視察する北村知事、寺田市長



▲旧十川上流では必死の排水作業



▲水浸しとなった農家の庭先（梅田）

集中豪雨と台風が直撃

被災九百八十四世帯に及ぶ

とくに、旧十川流域では、鎌谷町一帯から松島町一、二、三丁目、難田十川町、下流の下平井町へと被害が波及的に拡大。堤防の溢水が激しく、一時は決かいの恐れが出ました。

このため、市水害対策本部は、二十三日午前一時前、自衛隊に出勤を要請する一方、市職員を非常招集。危険個所では、地元消防団が総出で土の積み作業に当たり、松島町の住民六世帯、三十人近くが五一中体育館に避難し、不安な一夜を過

ごしました。朝五時、弘前駐とん地からかけつけた百人の自衛隊員が、鎌谷橋と十川橋の二手に分かれ、溢水現場で作業を開始、水量が減らず作業は困難をきわめました。午後一時半ごろ、今度

は水害に追い打ちをかけるように台風が直撃、収穫前のりんごを振り落とす通過、夕方頃からようやく水が引き始めました。市では、直ちに一般会計の補正予算を専決処分し、災害用資材の確保と

災害に要した費用に充て一方伝染病防止のため床上、床下被害者に対し石灰を配布、消毒作業を実施。また、トイレ等の汚水処理で西北五衛生処理組合に被災者優先の取り扱いを要請し、災害救済物資及び日赤、共募等の見舞品を配布しました。

市では、旧十川の早期改修をはじめ、市内中小河川の恒久的な改修・整備を国と県の関係機関に働きかけ、災害の復旧に努めています。

▼道路が川となった、松島町1丁目で



▲腰まで水につかった、漆川字鍋懸で

▶自衛隊員百人が溢水現場で土のう積み作業



▼台風15号の直撃で青実のりんごが落ちた、神山中



▲五一中体育館に避難した松島町の人たち

る防災訓練 8千人が参加



青森県総合防災訓練が八月二十七日、市内岩木川原の北斗グラウンドを主会場に市と県、陸上自衛隊、県警察本部、日赤、市連合町内会、市消防団など百八十九団体、約一万八千人が参加して行われました。この日は、あいにくの雨模様でしたが、台風15号の風水害を受けた直後で関心も高く、およそ五千人の市民が見学にかけつけました。

訓練は、市中心部を震源とする大地震が発生、家屋の倒壊、電気、ガス、水道等の各施設がこわされ、火災が発生した...との想定です。

午前九時、市内にサイレンが鳴り渡り、市庁舎と北斗グラウンドに災害対策本部が設置され、保育園や小中学校などでは一斉に避難訓練を開始しました。

同時に、市中心部の市民約四百人も次々グラウンドに避難をしました。

北斗グラウンドでは、バス火災避難や消火器で消し止める初期消火訓練、婦人会の八百人分のおにぎり炊き出し訓練、自衛隊員が岩木川にかけた仮設橋を救命胴衣をつけた市民が渡る訓練のほか、電話、ガス、電力、水道施設等の応急復旧訓練も行われました。

訓練を統監した北村知事は、「水害の跡かたづけもそこそこに多くの市民がかけつけてくれ心強い。一部に反省すべき点があるとはいえ、全般に手ぎわよい訓練で成果が大きい。今日の訓練を心に銘記し、万一の災害に備えてほしい」と話っていました。





あなたを守
雨を^{ついで}1万



アメリカから留学生

対日理解を深めたい

米国から高 ばかりの少年が、このほど
校を卒業した 留学生として五所川原市に



寺田市長と握手するウィリアムズ君

やってきました。

一年間、地元の高校に通い日本への理解を深めることにしています。八月二十四日には、寺田市長を表彰訪問しました。

この少年は、五所川原ロータリークラブ(前田堅会長)を通じて、コロラド州ボルダー市からやってきたアンドリュウ・ウィリアムズ君(一九)です。

ウィリアムズ君は、八月二十二日、五所川原市に着き、二日間休んだあと市長を訪問したもので、「まず日本語を学び、アメリカを

正しく理解してもらおうとにも、日本人々々としてできるだけ多く接し、日本の理解を深めたい」と抱負を述べていました。

この五月に高校を卒業したばかりというウィリアムズ君は、両親と妹二人の五大家族で、テニス、ランニング、スキーが得意というスポーツマンです。

ウィリアムズ君は、まずロータリークラブ会員の木下知さん(六)の方に寄宿し、さらに二人の会員宅が受け入れ、五所川原高校に通って一年間、日本についてのあらゆることを学ぶ予定だという。

年金のはなし

その7①

●給付の種類
拠出制国民年金の給付は、次の八種類です。

- 老齢年金、通算老齢年金、障害年金、母子年金
 - 準母子年金、遺児年金、寡婦年金、死亡一時金
- 現在年金を受けている人数及び金額は、次のとおりです。昭和五十六年

一月末現在・全国で)
拠出年金 六百十五万

拠出制の年金と受けられる要件

- 人、一兆六千四百五十一億円
- 福祉年金 四百二十万人、一兆五百七十七億円
- (一)老齢年金
- 受けられる要件

- ①保険料を納めた期間が二十五年以上あること(保険料の免除された期間がある人は、それを合算して二十五年以上)
- ②六十五歳になったこと

と。六十歳からの繰り上げ支給もできます)

①と②の要件を満たしたときに支給されます。

なお、この二十五年という期間は、昭和五年四

受給資格期間の特例

生年月日	期間
大正5年4月1日以前	10年
大正6年4月1日以前	11年
大正7年4月1日以前	12年
大正8年4月1日以前	13年
大正9年4月1日以前	14年
大正10年4月1日以前	15年
大正11年4月1日以前	16年
大正12年4月1日以前	17年
大正13年4月1日以前	18年
大正14年4月1日以前	19年
大正15年4月1日以前	20年
昭和2年4月1日以前	21年
昭和3年4月1日以前	22年
昭和4年4月1日以前	23年
昭和5年4月1日以前	24年

月一日以前に生まれた人には、その人の年齢によって、次の表のように十年から二十四年に短縮されております。

市民バドミントン大会

- とき 十月十八日(ル 五百円、混合ダブルス八百円)
- 日(集合午前八時三十分、試合開始午前九時)
- ところ 市民体育館 少年ホーム・バドミントン協会事務局(☎三三六〇二番)
- 種目 男子シングルス(経験者の部、初心者の部)、女子シングルス(同)、混合ダブルス
- 参加料 男女シング
- 初心者大歓迎
- で受け付けします。

「テレコムランド」電気通信展

五所川原電報電話局では五所川原局交換業務開始七十年の記念と電報、電話に対する一層の理解と協力を深めていただくため、電気通信展「81テレコムランド五所川原」を開催します。展示内容の主なものは、電話のつながるしくみ、光ファイバー通信、宇宙衛星通信、キャブテンシステム

等、また最近ではマイコンブームですが、ジャンケンボーン、姓名判断、UFOゲーム等大人も子供も楽しめるコーナーもあります。

暮らしに便利な電話から世界にほこれる新技術、これからでてる新サービス、マイコンゲーム等、五所川原地区初公開の技術等いろいろありますので、ご家族おそろいでおいで下さい。

- 入場 無料です。
- とき 九月二十五日(金)、二十六日(土)、二十七日(日)、二十八日(月)
- ところ 本町「中三」デパート五階

棟方志功展



釈迦十大弟子 文殊菩薩の欄
明日を拓く文化学園都市

多数ご観覧下さい

「棟方志功展」を開催

市中央公民館では、次の日程で棟方志功展を開催します。
市民のみなさん、多数ご観覧下さい。

「世界のムナカタ」、棟方画伯の代表的作品を展示し、棟方芸術の真価を味わってもらいます。
□とき 九月二十日(日)〜三十日(水)

□ところ 市中央

公民館

□観覧料 一般二百円、小・中学生五十円

教育の振興に役立ててと十万円寄付

広田の成田さん

広田の成田修治郎さんは八月三十一日、市の教育振興基金に役立てて下さいと市教育振興会へ十万円を寄付しました。

先に亡くなった奥さんの香典返しで贈ったものです。



農業者年金だより

●農業者年金は若いうちに加入するほど有利です。あなたの後継者も早く加入させましょう。

まず加入、老後のしあわせに

○農業者年金は農業経営主とその後継者のための年金です。

○農業者年金は国の法律で保障された年金ですから安心して加入できます。また他の制度にみられない高率の国庫補助があり、大変有利な制度となっています。

加入手続きを早く

つぎの方々の加入期限が迫っていますので、農協で早めに加入の手続きをして下さい。あなたはこれに該当していませんか。

■当然加入者(加入しなければならない)

国民年金の加入者で、自分名義の経営面積が50アール以上の農業経営主。

★昭和14年生まれの人にご注意!! (加入期限はつぎのとおりです)

生 年 月 日	保険料納付期限
昭和14年7月2日～昭和14年10月1日	昭和56年10月末日
昭和14年10月2日～昭和15年1月1日	昭和57年1月末日
昭和15年1月2日～昭和15年4月1日	昭和57年4月末日

■任意加入者(加入することができる人)

国民年金加入者で、50アール以上の農業経営主の後継者(引続き3年以上農業従事者に限る)。このほかに30アール以上50アール未満の園芸施設経営主と農業生産法人の常時従事者である構成員も任意加入できます。

★昭和16年生まれの人にご注意!! (加入期限はつぎのとおりです)

生 年 月 日	加入申出期間
昭和16年9月2日～昭和16年10月1日	昭和56年9月末日
昭和16年10月2日～昭和16年11月1日	昭和56年10月末日
昭和16年11月1日～昭和16年12月1日	昭和56年11月末日
昭和16年12月2日～昭和17年1月1日	昭和56年12月末日

一 出稼ぎから帰ったら手続きを一

農業者年金に加入している方が、出稼ぎに出て厚生年金などに加入すると、国民年金の被保険者資格を喪失するとともに、農業者年金の被保険者資格も喪失することになります。手続きをせずにそのままにしておくと、将来年金の受給権がなくなったり、年金額が少なくなったりする原因になりますので、出稼ぎに出るとき、また出稼ぎから帰ったときには、国民年金の手続きと合わせて農業者年金の手続きを必ずしましょう。

お申し込み、ご相談は農協または農委へ

一般曹候補学生***

自衛官募集案内

□募集人員 陸約四百人 海約三百七十人、空約四百人

□資格 高卒(見込み)

二十一歳未満の方

□受付期限 九月三十日

□試験期日 十月十一日

□合格発表 十二月二十四日

□入(校)隊 五十七年三月下旬

□待遇、その他 修学年限二年、卒業時二等陸

海・空曹

□お問い合わせ先

自衛隊青森地方連絡部

五所川原募集事務所(

☎35-3305番)

ゆっくり走ろう*

青森県



昭和56年

秋の全国交通安全運動

目的

この運動は、広く県民に交通安全思想・交通道徳を普及徹底し、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

期間

9月21日(明)から9月30日(木)までの10日間

運動の重点

1. 歩行者、特に子供と老人の交通事故防止
2. 自転車の安全利用の促進
3. 無謀運転と暴走族の追放
4. ヘルメット・シートベルト着用の推進

— 青森県交通対策協議会 —

交通事故防止市民大会 市民多数のご参加を

市民多数ご参加下さい。

□とき 九月二十五日(金)正午から午後四時まで

□ところ 市民文化会館 ほか

□行事日程

○交通安全市内パレード (正午、お祭り広場集合)

○交通事故防止市民大会 (午後一時から市民文化会館)

又四郎一行ほかタレント、午後二時から同)

□主催 市交通事故防止対策本部

街頭献血のご案内

あなたも献血手帳を

移動採血車「青い鳥号」が次の日程で街頭献血を行います。みなさんの協力をお願いします。

□とき・ところ

○九月二十八日(月)午前十時から、裏田町・東北電力五所川原営業所構内、

当日午後一時三十分から、大町・丸友ショッピングセンター構内

○十月二日(木)午前十時から、本町・かさい商店構内、当日午後一時三十分から、栄町・県合同庁舎前

あなたも献血手帳を。

「アレルギー性鼻炎」について みんなの健康教室

医師会と家庭を結び、みんなの健康教室」が次の日程で開催されます。お気軽においで下さい。

□ところ 産経会館四階ホール

□主催 北五医師会、五所川原市民保健協議会

「蓄膿症アレルギー性鼻炎」についてです。

□とき 九月二十五日(金)午後一時から二時

社会生活基本調査を実施

ご協力をお願いします



社会生活基本調査

10月11日

総理府統計局(青森県)では、十月一日現在で第二回目の社会生活基本調査を実施します。

この調査は、国民の生活時間の配分を調べるとともに、学習活動、ボランティア活動、その他の自由時間における主な活動について詳細にとらえ、国民生活の実態を総合的に明らかにし、

て各種行政施策の基礎資料とするものです。

調査対象は、全国を代表するように、一定の方法で選出された地域(調査区)から、さらに選定された世帯です。

県知事から任命された調査員が、九月下旬に、調査対象に選ばれた世帯をお訪ねしますので、よろしくご協力をお願いします。

なお、調査についてのお問い合わせは、青森県企画部統計課・人口労働統計班(☎〇一七七〇二一一番・内線二二七九番)へお願いします。

寄付・水害お見舞

水害の見舞金として五十万円

青森銀行

青森銀行では八月二十七日、水害の見舞金として五十万円を市に寄付し、寺田市長に託しました。写真下

被災者に洗面器とタオル贈る

みちのく銀行

みちのく銀行五所川原支店(久米田俊三支店長)は八月二十四日、水害被災者に役立てて下さいと、水害対策本部に洗面器、タオルそれぞれ百五十セットを寄贈しました。



大溝さん五万円寄付

市内錦町の大溝善逸さんは九月二日、市の教育振興



基金に役立てて下さいと、五万円を市教育振興会へ寄付、寺田市長に託しました。



金婚式のお祝い二十万円を贈る

新町の堀内さん

新町の堀内貞雄さん・きみよさん夫妻は八月二十九日、市の教育振興基金に役立てて下さいと、二十万円を市教育振興会へ寄付しました。このほど迎えた金婚式の



お祝いに贈ったものです。

国際障害者年事業にと五万余円

昭和パール会

昭和パール会(木村重治会長)は八月二十七日、ホテルサンルートで会旗の披露、婦人同伴チャリティーショウを行い、その益金五万二千六百六十円を国際障害者年事業に役立てて下さいと、市社会福祉協議会へ寄付しました。

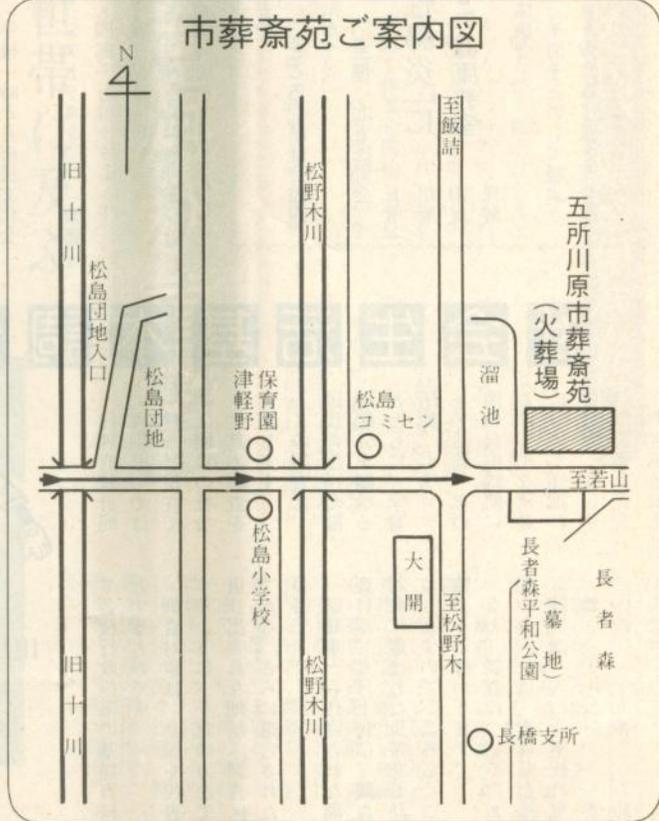
中央ロータリーでも十万円寄付

五所川原中央ロータリー

クラブ(川崎亮一会長)は九月六日、国際障害者年事業に役立てて下さいと、市社会福祉協議会へ十万円を寄付しました。

当日行った国際ロータリー加盟証状伝達式の席上贈ったものです。

市葬斎苑ご案内図



所得税の雑損控除について

このたびの台風15号で風水害を受けられた方に心からお見舞い申し上げます。台風の影響を受けた場合の救済措置が二つあります。

所得税法上の雑損控除による方法と災害減免法による税の軽減免除の方法です。どちらを選ぶかは自由ですが、雑損控除を適用する人が圧倒的に多いようです。台風などの災害で住宅や家

財に損失を受けた場合、その損害額が一定額を超えた金額を所得金額から控除するものが雑損控除です。なお、詳しいことは五所川原税務署におたずね下さい。(五所川原税務署)

保育園児の入所、年中受付け

市では、昭和五十六年度に認可保育園に入所する児童の申請書を、土曜日の午後、日曜日、祝祭日を除いた年中受け付けしています。

- 入所できる保育園 (鎌谷町、かまや保育園)
- お問合わせ 市福祉事務所 (☎35) 二二一番・内線 二四三番

広報紙の早期配布にご協力下さい